2023年度業務実績報告書

提出日 2023 年 12 月 21 日

- 1. 職名・氏名 准教授 松下元則
- 2. 学位 修士、専門分野 総合政策、授与機関 中央大学、授与年 2000年
- 3. 教育活動

(1)講義・演習・実験・実習

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 経営学総論 I (2単位)、配当年次:1年

②内容・ねらい

内 容:経営学の基本的な知識の解説。

ねらい:受講生が①経営学とはどのような学問かをイメージできるようになり、②経営学の 専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

対面講義を補うために、Google Classroom を使用した。毎回、Google Classroom を用いて、講義資料(PDF)と講義動画(予習・復習用)の配布・配信、小テストを実施した。期末レポートに県内企業のケース論文を使用することで、受講生が県内企業について理解を深める「きっかけづくり」をした。その際、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーから各自でケース論文をダウンロードさせることで、図書館で契約しているオンライン・データベースを受講生が使用する「きっかけづくり」をした。

① 担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 国際経営論(2単位)、配当年次:3年

②内容・ねらい

内 容:国際経営論のケース論文の講読。

ねらい:受講生が①国境をこえた企業活動の実態をイメージできるようになることと、②国際経営論の専門用語を使って書かれたものを読めるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生は、ケース論文を要約したレジュメを提出したうえで(Google Classroom 使用)、ケース論文を用いてグループ・デイスカッションを行った(Zoom 使用)。国際経営論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。また、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーから各自でケース論文をダウンロードさせることで、図書館で契約しているオンライン・データベースを受講生が使用する「きっかけづくり」をした。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

基礎ゼミ(2単位)、配当年次:2年

②内容・ねらい

内 容:経営戦略論の入門書の講読。

ねらい:受講生が経営戦略論の入門書を読めるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生は、教科書の内容を要約したレジュメを提出したうえで、教科書の内容に関連のあるトピックスについてグループ・デイスカッションを行った。経営戦略論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

外書講読 I (2 単位)、配当年次:2年

②内容・ねらい

内容:英語で書かれた経営戦略論の論文の講読。

ねらい:受講生が①英語の文章に慣れることと、②論文を1本、最初から最後まで読む体験

をすること、③著者の主張を要約できるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

理論というレンズを通して経営現象を理解することの面白さを実感できる内容で、受講生が 比較的読みやすい論文を選んだ。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

演習 I (4 単位)、配当年次:3年

②内容・ねらい

内容:経営学のケース論文と最新の学術論文の輪読。

ねらい:経営学の専門知識を使って企業の行動を理解できるようになることと、最新の学術 論文を読めるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生は、論文を要約したレジュメを提出したうえで、論文に基づく議論を行った。経営学の専門知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。また、東洋経済デジタルコンテンツ・ライブラリーから各自でケース論文をダウンロードさせることで、図書館で契約しているオンライン・データベースを受講生が使用する「きっかけづくり」をした。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

演習Ⅱ(4単位)、配当年次:4年

②内容・ねらい

内 容:受講生全員(8名)が卒業論文を執筆し、演習 I・Ⅱ合同の卒論発表会で口頭発表 と質疑応答を行った。

ねらい:経営学の専門知識を使って、身の回りの企業の行動を分析できるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

適宜、Zoom と Google Classroom を併用しながら、受講生一人ひとりの興味・関心と進捗状況にあわせて、卒業論文の個別指導を行った。卒業論文集を作成して、演習Ⅰ・Ⅱの受講生全員に配布した。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等 現代経営学(2単位)、配当年次:大学院

②内容・ねらい

内 容:経営戦略論の入門書の輪読。

ねらい:受講生が経営戦略論の入門書を読めるようになること。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

受講生は、教科書の内容を要約したレジュメを Google Classroom で提出したうえで、教科書の内容に基づく議論を Zoom で行った。経営戦略論の基礎知識の習得に加えて、読解力と文章力、議論する力の向上をはかった。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

経営学総論Ⅱ(2単位)、配当年次:1年

②内容・ねらい

講義を1コマ(10月6日)、担当した(分担)。福井県内の企業(セーレン)の海外進出に関する映像資料を用いながら、国際経営の基本的な知識を解説した。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫

映像資料を使用することで、受講生が企業活動の国際化について、具体例と結びつけながら 理解しやすいようにした。

①担当科目名(単位数) 主たる配当年次等

福井を学ぶ (2単位)、配当年次:1・2・3年

②内容・ねらい

講義を1コマ(6月16日)、担当した(分担)。

担当回のテーマ (キーワード) は、「企業と経営:福井の事例から考える」(戦略、組織)。

③講義・演習・実験・実習運営上の工夫	1.11. h. =
永平寺キャンパス周辺で観察される経営現象と県内企業を題材にして、経営学の基準 門用語とその使い方(=経営現象の考え方)を解説した。	本的な専
(2) その他の教育活動	
内容	
4. 研究業績	
(1)研究業績の公表	
①著書	【0本】
 ②学術論文(査読あり)	[0 4
松下元則「北海道新聞『立待岬』の計量テキスト分析:函館の飲食店・観光関係者が行	寄稿した
エッセーの内容とその変化」『福井県立大学経済経営研究』45, pp.39-54, 2023 年 3 月.	
③その他論文(査読なし)	【1本】
松下元則「食による地域興しイベントが開催地の町並みに及ぼす影響:函館西部地区	バル街の
事例研究」『日本観光研究学会全国大会学術論文集』38, pp.255-260, 2023 年 12 月.	[1 - L]
	【1本】
松下元則「食による地域興しイベントが開催地の町並みに及ぼす影響」第38回日本観光	光研究学
会全国大会, 2023 年 12 月.	[1 <i>[</i>
	【1件】
	【0本】
(a) 幻 兀 弗 炊 页 兹 名 弘次 入 港 但 史 生	
(2)科研費等の競争的資金獲得実績	
(3)特許等取得	
(4)学会活動等	

5.	批量	•	社会貢献活動

⑥公	盟	藩	应垒
(0):75	171	пЩ	r = r

・短期ビジネス講座 2023、企画コーディネーター (含:当日の司会)。

日時:11月11日、25日、12月2日、13:00~16:10

⑦その他

・福井県立大学一般教育科目「福井を学ぶ」、協力教員。

日時:6月15日1限

題目:「企業と経営:福井の事例から考える」

6.	大学運営への参画	i
\cdot		1

6. 大字連宮への参囲
(1)補職
(2)委員会・チーム活動
【法令に基づく委員会等】
・入学試験本部委員、R4.4~現在に至る
【経済学部内各種委員】
・短期ビジネス講座企画コーディネーター H27.4~現在に至る
(3)学内行事への参加
・入試説明会
仁愛女子高校、丹生高校、丸岡高校、愛知県立新川高校
(4)その他、自発的活動など